

山形県観光復興対策実施計画 平成28年度評価調書

別紙1

都道府県名	山形県	計画に包摂される市町村	県内全市町村(35)		
計画期間	平成28～30年度	評価責任者	観光文化スポーツ部 インバウンド・国際観光推進課 安孫子義浩		
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年	平成29年	平成30年	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:人)	80,000	100,000	120,000	
指標②	外国人旅行消費額(単位:百万円)	5,400	7,800	10,100	
指標③	—	—	—	—	

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況	山形県の外国人観光客の受入数の増加(H27 96,847⇒H28 127,731【インバウンド・国際交流推進課 調査】)					
2 定量的指標の達成状況	指標① 外国人延べ宿泊者数(単位:人)	目標値	80,000	目標値の実現状況に関する評価	<p>プロモーション及び受入環境の整備を中心に誘客に努めたが、宿泊者数については伸び悩んだ。外国人観光客の受入数の伸び率は、宿泊者数の伸び率よりも大きく、立寄りを中心に誘客が伸びたことが大きな要因である。また、東北全体の伸び率に比べても低い伸び率に留まることから、継続的プロモーションによる知名度向上と体験型観光メニューの開発や周遊ルートの開発などによる滞在型観光への転換が必要である。</p> <p>外国人延べ宿泊者数自体の伸びに比較して、観光消費額単価の下落幅が非常に大きく目標に届かなかった。体験コンテンツの高付加価値化やメニューの多様化など滞在型観光への転換により消費額の向上を図る必要がある。</p>	
		実績値	70,400			
	指標② 外国人旅行消費額(単位:千円)	目標値	5,400	目標値の実現状況に関する評価		
		実績値	2,036			
	指標③ —	目標値	—	目標値の実現状況に関する評価		—
		実績値	—			
3 事業の進捗状況	別紙2の個別事業評価調書による					
4 評価方法	自己評価による					
5 中間評価の公表方法	県のホームページにて公表する					
6 計画全体の総合評価	本観光復興対策実施計画では、東北観光復興対策交付金を活用したインバウンド向けプロモーション事業と受入環境整備事業を重点的に実施した。このことについては、増加する外国人観光客に対して、ニーズに合致し、かつ時宜を得た事業を展開できていると考えている。また、指標中、宿泊者数については、目標値には届いていないものの、全国(+5.8%)を上回る宿泊者数の伸びを確保できていることや、今後も積極的、継続的にプロモーションを展開していくことを考慮し、さらなる上積みも期待できるものと考えている。					
7 今後の方針等	本観光復興対策実施計画においては、円滑に事業が進んでおり、引き続き本観光復興対策実施計画に沿って事業を推進していくものである。目標値の達成に向けて、更なる宿泊者数と消費額の増のため、継続的プロモーションによる知名度向上、体験型観光メニューの開発や周遊ルートの開発、体験コンテンツの高付加価値化、メニューの多様化などによる滞在型観光推進の取組みを一層強化していくとともに、受入環境整備についても、誘客の土台となるものであることから引き続き積極的に取り組む。					